



CORPORATE
PROFILE



新日本リフォーム株式会社

新しい価値をご提案いたします。

<新日本リフォームのリニューアル>

長期的視野に立ち補修・改修を総合的に行ない、付加価値を持たせる工事がリニューアルです。

弊社はマンションの大規模修繕工事からビル・オフィスリニューアルや住まいのリフォームに至るまで、

総合リニューアル企業として次の時代に向けた良質な工事とサービスを提供し続けます。

RENEWAL

信頼・安心

- 安心の責任施工体制
- 40年超の工事実績
- 経験豊富な技術スタッフ

弊社リニューアルの特色

快適 グレードアップ

- 豊富なリニューアルデザイン
- 居住性・快適性向上へのチャレンジ
- トータルソリューション&コンサルティング

品質・安全

- 確かな品質安全管理体制
- アフターメンテナンスを支える組織
- 防犯・防災への十分な配慮

弊社リニューアル取組方針

サステナブルな社会の建設に向け、環境共生、自然エネルギー利用、長寿命化、リノベーションなど、さまざまな手法を通して建築ならびに設備の持続の可能性が模索されています。

私どもはビル・マンションの管理で培った経験をもとに、建物のリニューアルの企画設計から施工、アフターメンテナンスまで皆様の期待と信頼にお応えいたします。

1. トータルソリューション&コンサルティングの実践

現在の建物の健康状態はどうか、建物の長寿命化のための工法は、多様化する家族構成やライフスタイルへの対応は、IT化により変化するオフィスへの対応は……。

私どもはトータルソリューションとコンサルティングで皆様の期待に応えます。

2. 診断からリニューアルまでワンストップで対応

事後保全的対処から、計画的かつ予防保全的にリニューアルをする取り組みが進んでいます。劣化診断・耐震診断からリニューアルまで、建築から設備まで、共用部から専有部まで、そして工事からアフターまで一貫した体制で対応できる希少な総合リニューアル企業としてさまざまなお客様のニーズに対応いたします。

3. お客様満足への徹底したこだわり

リニューアルのプロとして、十分なコミュニケーションを通して、お客様のリニューアルに向けた思いを自らのものとし、夢の実現に向けて最適なリニューアルプランをご提供します。

お客様の住空間を「安心で快適に」再構築するため、私どもは「お客様の満足」にこだわり続けます。

リニューアルの目的

1. 劣化対応

経年劣化の進行度合は、使用状況その他の要因で建物ごとに異なります。

リニューアルの必然性を客観的に判断することは難しく、どの程度の水準を目標とするか、工事範囲は、コストはどれだけかかるか、いつ行うか、など検討すべき事柄は多数あります。

建物ごとに劣化の程度を診断し、その結果に基づいてリニューアル工事を立案することが重要です。

2. 相対的な機能・性能の低下（陳腐化）への対応

相対的な機能・性能を向上させるインテリジェント化にあたっては、電気・空調・衛生・防災という各設備に対して、リニューアル時の留意事項を専門的に検討することが必要です。

3. 省エネルギー対応

リニューアルによる省エネルギー対策は大きな効果が期待できます。

特に、空調設備が使用するエネルギーは、建物の使用エネルギーのうちかなり大きな部分を占めるため、経年劣化による効率の悪い設備やシステムを最新の機器に更新することによる省エネルギー効果は大きいものがあります。

4. 法改正対応

竣工当時は合法的であったものでも現在の法規には合わない建物を「既存不適格建築物」と言います。

このような建物は、増築、改築、大規模の修繕・模様替えを行なう場合には、それを機会に新法に合わせる必要性が出てきます。特に、安全に関わる事項は積極的に対応することが望ましいといえます。

OUTLINE

事業概要

リニューアルにあたっては、建築物を所有している施主や建物管理者のニーズを的確に把握し、既存建物の社会的背景や建物の健全度、機能、さらには資産的価値等についても十分に検討しておくことが重要となります。各種リニューアル事業では、建築・設備の確かな調査・診断をもとに、お客様にとっての最適なリニューアルをご提案します。

マンションリニューアル事業

土地の有効活用や都市型の住居スタイルの浸透からマンションの需要は増加を続けている一方で、高経年のマンションも増加の一途にあります。

マンションを健康な状態に保っていくためには、適切な時期に信頼できる施工会社によるリニューアルをすることが不可欠です。弊社では、長年培ったマンションの管理とリニューアル工事の実績から、建築・設備全般にわたるマンション全体のリニューアルにおいて、快適で安心なマンションの居住空間をご提供します。



設備リニューアル事業

生活に欠かせない給排水設備、空調設備、電気等のライフラインは計画的に維持保全のためのリニューアルを実施する必要があります。ライフライン全体の設計施工、大規模修繕工事と設備リニューアルとの一体施工、共用部から専有部に至る一体でのライフラインの維持保全など、設備リニューアルにあたっては専門的なソリューションが求められます。

弊社はリニューアルの企画・設計、施工、アフターメンテナンスまで一貫したコンサル能力を備えており、専門的視点からのアドバイスで皆様の期待と信頼にお応えします。

ビル・オフィスのリニューアル事業

ビル・オフィスは単なるスペースではありません。企業にとっての活動の拠点であり、その生産性が経営戦略の命運を分けることにも繋がります。

現代のビル・オフィスには機能性・快適性はもちろん、情報の管理、企業イメージの醸成、省エネルギーへの取組など、さまざまな課題が課せられています。

弊社では、時代と共に多種多様化する企業のニーズを的確に把握し、ビル・オフィスのトータルソリューションをご提供いたします。



耐震サポート事業

現在、建物の耐震設計の基本となるのは、1981年（昭和56年）6月1日に施行された所謂「新耐震設計法」であり、それ以前に設計・施工された建物は耐震診断の必要性が生じます。

みなさまが安心して生活できる住環境の提供を考え、グループ会社の新日本管財と連携し、耐震診断から補強設計、補強工事までグループで一貫して行う独自のサービスに定評があります。

住まいのリフォーム事業（戸建・マンション専有部）

家族構成の変化、最新の住宅設備への更新、また修復メンテナンスなど住まいのリフォームをする動機はさまざまです。

部屋の模様替え、間取り変更、キッチン等水回りの更新などの内装リフォームから、屋根・外壁などの外部改修まで、住まいのリフォームはさまざまで、工事の内容により各々専門のプランナーの適切なアドバイスが必要になります。

弊社では毎日の生活をリフレッシュし快適で安全な住まいとするため、専門のリフォームプランナーが夢の実現に向けたお手伝いをいたします。



MANSION RENEWAL

マンションのリニューアル事業

建物を建築当時の良好な状態で維持し、快適なマンションライフを確保するため、経験豊かな建物管理ノウハウと確かな技術をご提供いたします。

MANSION RENEWAL

●マンションリニューアルの目的

マンションの資産価値の維持向上

- 美観の回復
- 快適性の向上
- セキュリティーの強化
- バリアフリーへの対応
- 耐震性能の向上
- 省エネルギー・CO₂対策

●専門スタッフが工事完了まで万全の体制で

- 1 建物調査診断
- 2 工事提案・見積作成
- 3 説明会・打合せ
- 4 工事請負契約
- 5 工事説明会・近隣挨拶
- 6 工事着工
- 7 社内検査
- 8 竣工検査
- 9 引き渡し
- 10 アフターメンテナンス

●マンションリニューアル成功のポイント

<確かなリニューアル計画の策定>

マンションリニューアルにあたっては、管理組合での合意形成等に向けて、居住者のニーズを的確に把握することのほか、建物の健全度、機能、さらには資産的価値等についても十分に検討することが求められます。経年劣化の度合いに応じた適切な対処を行なうため、施工計画・安全計画を含めた確かなリニューアル計画の策定が先ずもって重要となります。

<工事中の安全対策・事故防止策>

マンションリニューアルでは工事中の安全パトロール、工程管理、作業の指示、居住者の皆様への対応など、安全と作業効率の適切なコントロールが必要となります。リニューアル工事は仮設工事からスタートします。共通仮設として設置される現場事務所・資材倉庫、また直接仮設としての足場・養生シートなど、工事期間中の安全を第一にした現場のプランニングがリニューアル工事を成功に導きます。

<居住者・近隣住民とのコミュニケーション>

マンションに居住しながらの工事を行なうためには、工事の事前説明会の開催、工事中の居住者の協力、近隣の理解等、居住者・近隣住民とのコミュニケーションを十分に図っていく必要があります。大規模修繕工事には、豊富な修繕実績、経験豊かな現場代理人の派遣、しっかりとしたアフターメンテナンス体制等、大規模修繕ノウハウを持った施工会社が必要となります。

<安心の施工管理・品質管理体制>

工事中、工種ごとの工程を管理するとともに、居住者との協力体制や連絡体制をしっかり築くことが迅速で確実な工事の仕上がりに結びつきます。外壁の下地の劣化や破損の程度は表面からではわかりません。補修の必要な箇所はその状況に応じて最適な方法で補修を行なう必要があります。美観にも十分配慮した工事の品質管理体制が責任施工の基礎となります。

●主なマンションリニューアル工事



仮設工事



下地補修工事・シーリング工事



塗装工事（外壁塗装）



防水工事（屋上）



塗装工事（鉄部塗装）



タイル貼り替え工事



エントランスの改修（バリアフリー）



エントランス・自動ドア設置



廊下・階段（長尺シート貼り工事）

FACILITIES RENEWAL

設備リニューアル事業

普段は目にしない給水・排水・給湯設備、空調設備、電気設備等という建物のライフラインの劣化は、経年と共に着実に進行しています。各設備の老朽化の状況を調査・診断し、適切な時期にリニューアル工事を行なうことが建物の延命にとって重要となります。

●設備リニューアルの目的

- 1 老朽化への対応
水環境の衛生状態の確保、室内環境（温度、湿度、換気の管理）の維持、等
- 2 設備機器・材料の陳腐化への対応
設備機器性能の高度化による既存設備の機能・材料の陳腐化への対応
- 3 地球環境への対応
CO₂削減への対応、省エネルギー対策
- 4 法律改正への対応
建築関係法規への適合、安全性の向上

●設備リニューアルのポイント ＜給水・給湯設備リニューアル＞

給水・給湯設備のリニューアルには、共用部給水配管、専有部給水・給湯配管、受水槽・高置水槽、ポンプ等の改修があります。環境や使用状況によりそれぞれ更新時期は異なりますが、給水・給湯管の更新では築20～25年頃に実施するのが一般的です。特に最近は給水システム全体を見直す工事を同時に実施するケースが増加しており、直結増圧ポンプ方式への変更が主流となっています。

＜排水管改修工事＞

排水・通気配管のリニューアルには、共用部と専有部のそれぞれの排水・通気配管の改修があり、事前の調査・診断により最も適した工法により工事を行ないます。給水管と同様に排水管のリニューアルには更生工法と更新工法がありますが、水漏れなどが頻発している場合は配管自身を新しく取り替える更新工法を採用することをおすすめします。

●主な設備リニューアル工事



①給水・給湯配管更新工事



②給水システム変更工事



③給水管更生工事（施工前・施工後）



④排水管更生工事



⑤給水・給湯装置（ポンプ）改修工事



⑥排水・通気設備更新



⑦空調和設備



⑧防災設備



⑨高置水槽・受水槽リニューアル

●設備リニューアルの流れ

- 1 建築設備の調査・診断
調査準備／調査仕様書／調査実施／報告書作成／調査診断報告会
- 2 建築設備リニューアル案の企画・設計
現場調査／所轄官庁協議／改修工事企画書／設計図書
- 3 建築設備リニューアル工事
各設備工事施工計画／安全対策／工程管理／竣工図書
- 4 アフターメンテナンス
定期点検／保証期間満了点検／緊急対応

＜給水管改修工事＞

給水管の改修工事には、更生工法と更新工法があり、事前の調査・診断によって、残存肉厚がある程度確保されている場合、低コストで短工期の更生工法で延命措置を行なうことができます。耐用年数を迎えて劣化の激しい配管は更新工事が必要となります。更新工事には隠蔽工法と露出工法があり、工事環境やコスト等を比較検討のうえ工法選択することとなります。

＜換気（空調）衛生設備・電気設備・情報設備工事ほか＞

エネルギーロスの増大、故障率の上昇、安全性を含めた機能低下、補修部品の入手困難、メンテナンス費用の増大など設備リニューアルに至る動機はさまざまです。換気（空調）衛生設備・電気設備・情報設備は日進月歩で新しい機器が提供されており、リニューアルに求めるニーズに合わせた機能を持つ設備機器の選択が重要となります。

BUILDINGS & OFFICE

ビル・オフィスのリニューアル事業

人間重視の快適なオフィス環境の確保のため
建物管理で培った経験と技術で
より快適で付加価値の高いリフォームを実現します。



●ビル・オフィスリニューアルの目的

- 1 建物の周囲の状況、環境変化
- 2 建物イメージの向上
- 3 相対的機能・性能の低下への対応
- 4 建物使用方法の変更（建物使用内容の高度化への対応）……リノベーション
- 5 事務所から店舗への用途変更等……コンバージョン

●ビル・オフィスリニューアルの制約条件

コスト（工事費）の制約

- 工事費とともに維持費や生産性向上などを含めたライフサイクルからの検討

建物の構造上の制約

- 建物の階高
- 設計荷重などの建築構造上の制約

人の制約

- 居住者への配慮（警備、養生、工事時間、改修方法等の検討）
- 居住者と工事作業員の動線の分離

●ビル・オフィスリニューアルのポイント

ソリューション&コンサルティング

竣工後20年を経過したビル・オフィス空間においては、OA化に伴う電気容量や電話回線の不足、昇降機の老朽化、照明器具や水回り、特に給湯室、トイレ回りの陳腐化、設備機器の劣化が進んでいます。弊社は、ビル・オフィスリニューアルによる快適なオフィス環境づくりのため、確かなソリューションとコンサルティングをご提供します。

快適性の向上

建物の利用形態の変化、特にインテリジェント化に代表される情報通信高度化への対応やテナントの変更等で事務所建物の内装リニューアルは比較的頻繁に行なわれます。OAフロアの設置、十分な照度確保、トイレなどのリフレッシュ空間充実。弊社は、オフィス空間をより快適なものとするため、建物管理で培った経験と技術をご提供します。

時代への対応

CO₂抑制による地球温暖化対策等の地球環境問題や省エネルギー・省資源への配慮といった社会情勢への対応、財産保全上からのセキュリティや安全性への対応など、リニューアルに求められるものも増えています。弊社は、延命策や模様替えにとどまらない、時代へ対応するリニューアルにお応えします。

●主なビル・オフィスのリニューアル



①内装工事



②原状回復・入居工事



③オフィスインテリア設計施工



④照明システム天井改修工事



⑤OAフロア設置工事



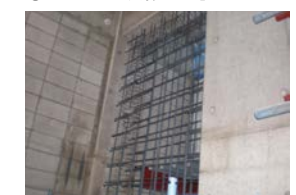
⑥トイレ改修工事



⑦解体工事



⑧-1耐震改修工事



⑧-2耐震改修工事

SEISMIC RETROFITTING

耐震サポート事業

耐震診断から補強設計、補強工事までグループで一貫して提供する独自のサービス。

●耐震診断から補強工事までグループで一貫して提供する独自のサービス

- 1 耐震診断から耐震補強設計、耐震補強工事まで一貫してサポート
- 2 設計・工事双方の視点からサポート
- 3 安全・コスト・美観への配慮
- 4 マンション管理組合様の合意形成をサポート
- 5 資金計画のご提案



耐震補強工法の種類

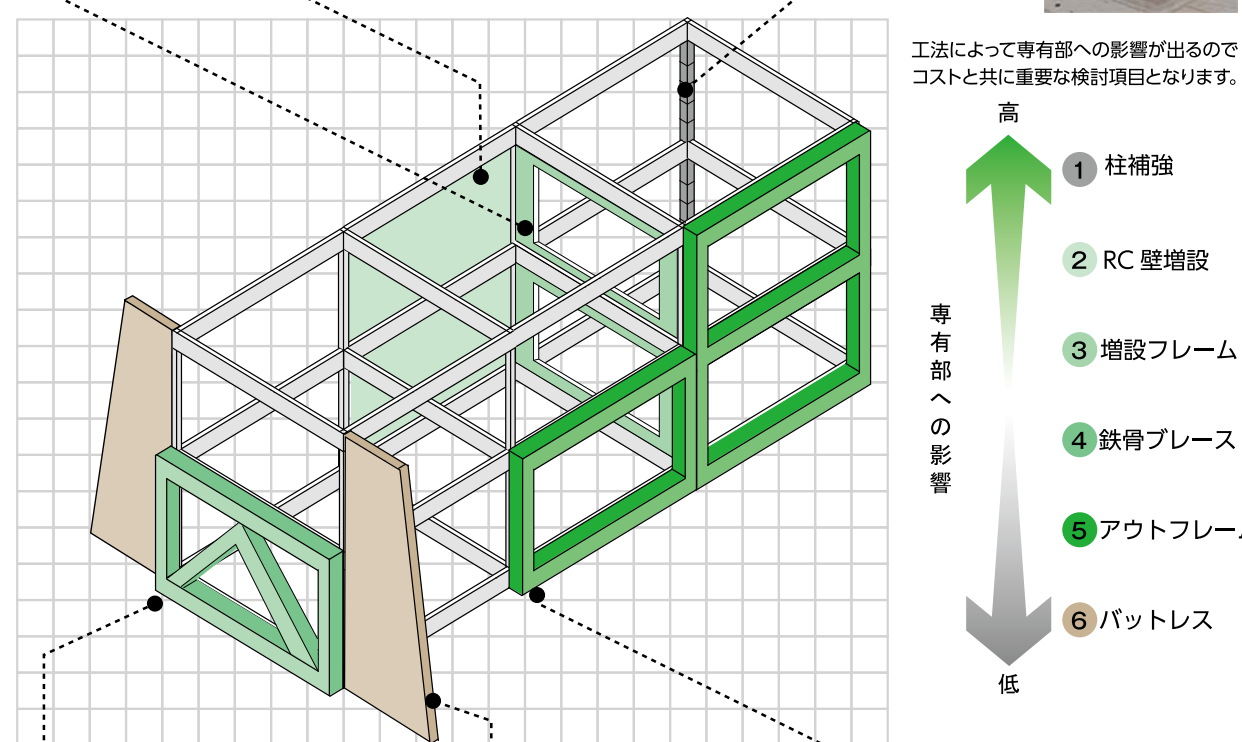
耐震補強の工法は主に建物の強度を増す物と変形能力を増す物に分かれます。工法の中には、専有部に影響する物もありますので、必要な強度・専有部への影響・予算を考えながら設計を行います。

3 増設フレーム
強度の弱い柱の部分にフレームを継ぎ足し、強度を上げる工法。

2 RC壁増設
柱と柱の間にRC壁を新設する工法。または、もともとあるRC壁に対して壁厚を増やす、既存壁増し打ち工法。



1 柱補強
柱の周りに鋼板巻きを施し、コンクリート躯体と鋼板を一体化する工法。



4 鉄骨ブレース
鉄骨などの型鋼でつくられた補強材。地震などの横からの力に対してブレースの引張力により建物が変形するのを防ぐ役割を持つ。



6 バットレス
構造上弱い構造面の延長線上に強い構造体を設け、補強する工法。

5 アウトフレーム
柱や梁など建物のフレームにあたる部分が室外に出るように設計する工法である。



REFORM

住まいのリフォーム事業

「お客様の満足」にこだわり続けることが住まいのリフォームの精神です。

住まいのリフォームとして次のことを基本としています。

- ① 住まいの「安心」「安全」「快適」を実現すること
- ② 個別相対相談により顧客の夢を実現すること
- ③ 誠実な工事を行なうことによって顧客の信頼を得ること



REFORM

● 主な住まいのリフォーム工事



玄関・エントランス



リビングダイニング



キッチン



収納家具・クローゼット



和室



サニタリー



バリアフリーリフォーム



外壁・屋根

● 住まいのリフォームの特色

女性建築士（リフォームプランナー）が設計&コンサルティング

工事期間中の木目細かな配慮

コミュニケーション

充実の仮住まい支援サービス

住まいの建物診断・耐震診断

● 住まいのリフォームの流れ

1 リフォームのご相談

5 ご契約

2 打合せ現場調査

6 工事

3 プレゼンテーション

7 点検

4 お見積り

8 メンテナンス

● 住まいのリフォームのポイント

女性建築士（リフォームプランナー）が設計&コンサルティング

台所・水回り等使用する主婦の目線、動線が十分に配慮されたリフォーム、収納面が十分に配慮されたデザインなどリフォームの要望は様々です。

女性スタッフを中心にした建築士やリフォームプランナーが相談・プランニング・施工管理を一元的に担当します。CADを使用した図面やリフォームイメージでリフォーム後のご自宅をしっかりと確認できるリフォームプランをご提案します。

充実したコミュニケーション

具体的なリフォームプランや設計を、担当者がお客様と十分なコミュニケーションをとってプランやデザインに時間をかけることが大切であると私どもは考えています。

趣味、家族の趣向、色調、素材、家族構成、好きな食べ物、将来設計などなど、リフォーム後の快適な生活環境を実現するために、事前に知っておくことは多く、話しやすい女性担当者にお客様のご要望のすべてをお聞かせください。

充実の仮住まい支援サービス

リフォームは新築と違い、リフォーム中の生活への影響が心配事の一つとなります。

現在、目黒に仮住まい用のマンションを準備しています。

リフォーム期間の仮住まいの支援により、安心で快適なリフォームを提供します。

工事にあたっての木目細かな配慮

弊社では、作業員の教育により、居住者・近隣者への配慮、安全対策・事故防止の指導、服装・挨拶励行を徹底しています。

工事後のアンケートや定期的なアフター状況の把握など「お客様の満足」にこだわり、木目細かな配慮がこもったリフォームを行ないます。

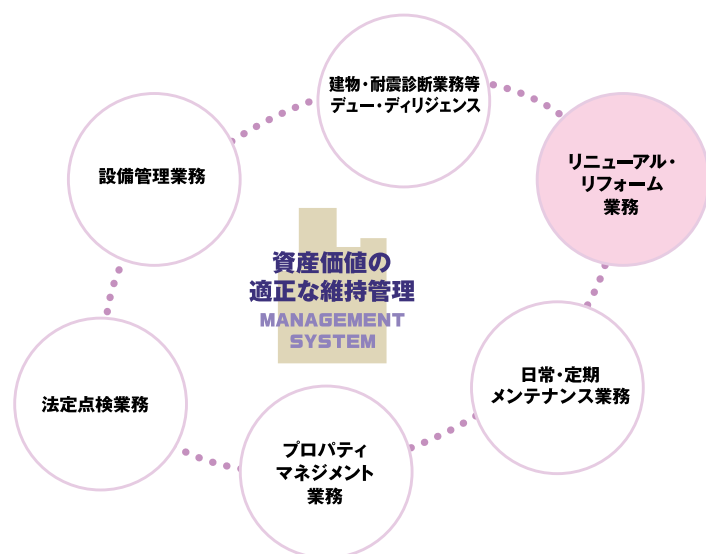
CONCEPT & SOLUTION

総合的な建物管理システムと資産管理ソリューションをご提供いたします。

新日本管財グループでは、長年の建物管理で培われた経験と実績から、建築物の環境負荷低減、長寿命化と資産価値向上のための、ベスト・ソリューションをご提案いたします。

新日本管財グループの資産管理ソリューション

近年関心の高まりを見せております建物の耐震性能に関する評価のみならず不動産ビジネスにおけるリスクの低減を目的としたデュー・ディリジェンスから資産価値の適正な維持管理を可能にするあらゆるソリューションをご提供いたします。



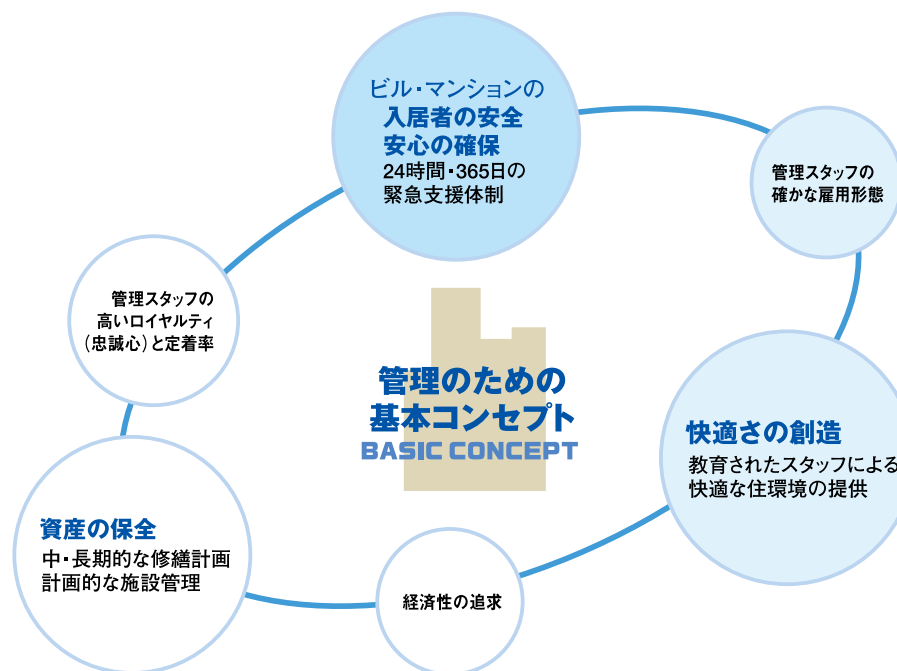
業務内訳	
耐震関連業務	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断(予備・現地調査・1次診断、2次診断、3次診断)、耐震補強設計 耐震診断からの補強設計・補強工事一括施行(管財・リフォームのグループにて) 上記業務助成金の申請代行業務 構造設計の評価(設計条件・技術的判断、解析モデルの作成、コンピュータによる構造計算、総合評価)
建物診断業務等 デュー・ディリジェンス業務	<ul style="list-style-type: none"> 建物劣化診断(構造躯体調査、仕上面調査、設備診断) アスベスト調査(事前調査、分析調査) 環境サイトアセスメント(現状分析を伴わない土壌汚染簡易診断:資料収集、アンケート調査、現地ヒアリング、リスクの定性的分析) エンジニアリング・レポート(ER)の作成
プロパティマネジメント業務	<ul style="list-style-type: none"> アカウントティング業務(請求事務、入出金管理、延滞管理) レポート業務(年間予算、修繕計画、修繕実績、月次損益計算書、テナント入居状況) コンストラクションマネジメント業務(修繕改修工事の企画・提案、監理、監督) メンテナンス統括業務(清掃管理、設備管理、環境衛生管理、保安警備) リーシング業務(賃料の設定、テナント管理、テナント募集、入居退去諸手続)
監理業務	<ul style="list-style-type: none"> 入札監理業務、工事監理業務
備品・消耗品購入業務	<ul style="list-style-type: none"> 玄関マット、エレベーター内マット、トイレトーパー、工具類、共用照明管球、清掃用資機材・消耗品等の購入
公共料金計算業務	<ul style="list-style-type: none"> 電気、水道料金の検針、計算請求
リフォーム業務	<ul style="list-style-type: none"> 大規模修繕工事、耐震補強工事 給排水管更生、更新工事、空調・電気設備工事 内外装工事、鉄部塗装工事、屋上防水工事、専有部原状復旧工事 戸建・マンションリフォーム、バリアフリーリフォーム

新日本管財グループ

- 新日本管財株式会社〈建物管理、建物診断〉
- 新日本リフォーム株式会社〈リニューアル、リフォーム〉

新日本管財グループの総合的な建物管理

オーナー様や管理組合様のニーズや建物の状況、運営形態などに応じてオリジナルの管理運営企画を作成。日常の管理業務はもちろん、設計段階でのアドバイスや事務手続きまで、プロフェッショナルのノウハウがあらゆる面に行き届いた総合的な管理システムですので全ての業務を安心して任せいただけます。



業務内訳	
設備運転管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 設備運転管理員の常駐・中央監視室における主要建築設備の監視・遠隔操作
警備業務	<ul style="list-style-type: none"> 警備員(日勤、24時間)、駐車場管理員、受付・案内係、その他サービス員の常駐等 機械警備(防犯、設備異常)業者との契約代行
環境衛生管理業務 (特定建築物3,000㎡以上)	<ul style="list-style-type: none"> ビル管理技術者選任・空気環境測定・害虫駆除・貯水槽清掃 水質検査 汚水槽、雑排水槽清掃
清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> 共用部分の日常清掃 塩ビタイル、シートの定期清掃(洗浄、ワックス塗布)・カーペットクリーニング 窓ガラス定期清掃・外壁アルミサッシ・パネル、タイルの清掃 塵芥処理(日常ゴミの収集・分別処理)
法定点検業務	<ul style="list-style-type: none"> 自家用電気工作物(高圧受変電設備)の定期点検、定期検査報告 消防用設備(自動火災報知機、防火戸・排煙設備、消火栓設備、連結送水管設備、誘導灯、消火器具、避難器具、非常コンセント設備、非常放送設備、スプリンクラー設備、CO₂消火設備他)の保守点検、点検報告 特殊建築物の定期調査報告 建築設備(換気設備、排煙設備、非常用照明設備、給排水設備他)の定期検査報告 エレベーター、エスカレーター、ダムウェーター設備の月次点検、定期検査
定期点検整備業務	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備(冷温水発生機、蓄熱槽、ヒートポンプチャラー、冷却塔、空調機、ファンコイルユニット他)の切替・点検・調整等の年間保守管理 給水ポンプの定期点検報告 機械式駐車場の月次点検 浄化槽設備の月次点検、水質検査、汚泥引抜、法定検査 その他設備の定期点検
防火管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 消防計画等作成、消防訓練等防火管理者の補助業務

MAINTENANCE

アフターメンテナンス

充実したアフターメンテナンスこそがリニューアルの要であると考えます。

リニューアル工事完成後も工事担当者や専門スタッフにより、お引き渡しした建築設備の状態について充実したアフターフォローを行なうことが、お客様満足度向上の原点だと考えています。

●アフターメンテナンス指針

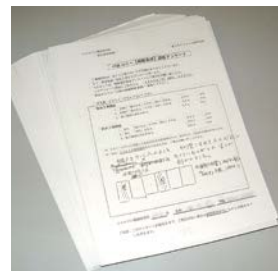
1 定期的なリニューアル後のアフターフォローを徹底する。

2 リフォームアンケート等により「お客様満足度」をしっかりと把握する。

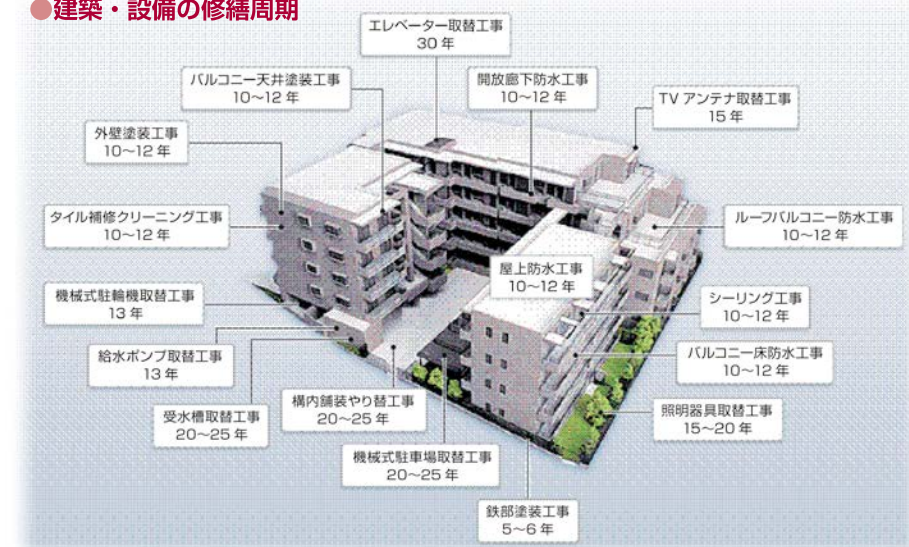
3 点検修理が発生した場合、早期に補修工事を完了する。

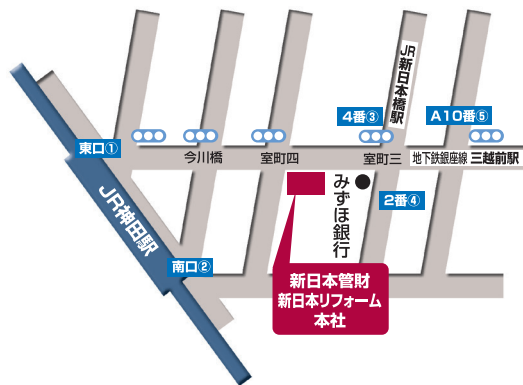
●アフターメンテナンスの流れ

- 1 リニューアル工事・リフォーム工事竣工引き渡し
- 2 工事管理部
アフターメンテナンス対象工事の登録
- 3 データ管理
1. 物件名 2. 工事内容 3. 保証期間 4. 保証内容
5. 施工業者 6. メーカーリスト 7. 定期点検予定日
- 4 定期点検アナウンスメント
保証年数・工事種別に応じて1～2.5年で定期点検を申し入れ定期点検の案内と同時に不具合アンケートを適宜実施
- 5 アフターメンテナンスの実施
点検の結果、手直しがある場合には補修工事を早期に行ない検査を実施
- 6 検査
- 7 完了報告書作成・提出



●建築・設備の修繕周期





- JR神田駅
東口出口 (MAP①) または
南口出口 (MAP②) から徒歩5分
- JR新日本橋駅
4番出口 (MAP③) または
2番出口 (MAP④) から徒歩3分
- 銀座線三越前駅
A10番出口 (MAP⑤) から徒歩5分

〒103-0022
 東京都中央区日本橋室町4丁目3番13号 三建室町ビル
 TEL.03-3241-8814 FAX.03-3270-1538
<https://www.sn-reform.co.jp/>

📍 新日本リフォーム株式会社